

今日、なに読む？

うちどく

家読とは・・・

かていどくしょ

りやくご

かぞく

「家庭読書」の略語です。家族みんなで読書することで家族の

ふか

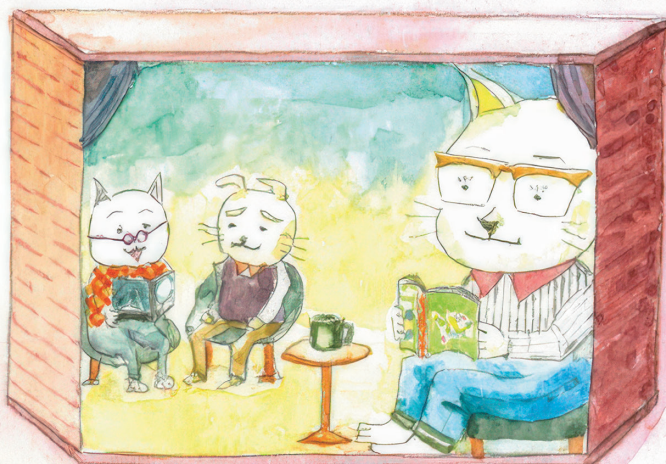
もくてき

コミュニケーションを深めることが目的です。

いっしょ

す

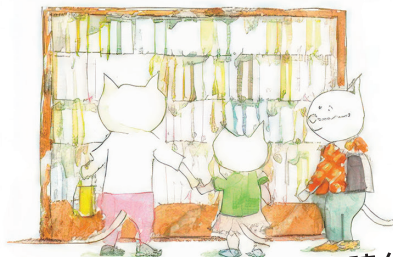
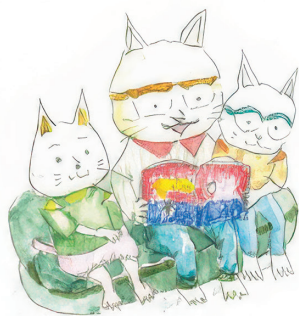
家族で一緒に読書の時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



家読やってみよう！

1. 読み手が楽しいと思える本を読んでみましょう。
2. まずは絵本の読み聞かせから始めてみましょう。
はじ
3. 読む本に迷ったら図書館や書店で相談してみま
まよ としょかん そうだん
しょう。

家族で同じ本を読む



一緒に図書館へ行く

読んだ本について 話をする



「家読（うちどく）」で子どものしなやかな心を育む
家読推進プロジェクト代表 佐川二亮

コ ラ ム

「三つ子の魂百まで」という古いことわざがあります。幼少期に身についた性格は年を重ねても変わらないという意味になりますが、人間として一番脳が発達するのが3歳前後。この時期に思考や感情やコミュニケーション能力が身につくことから、幼少期の育児環境の良し悪しがその子どもの人生を決める、とまで言われています。

そこで、どんな育児環境が望ましいのか？私たちは学校の「朝の読書」の家庭版として、「絵本」をキーワードにした読書運動【家読】を平成18年に提唱しました。1日10分あるいは土・日曜のひとときに「家族みんなで絵本を楽しもう」、「読んだ絵本の感想を語り合うことで」家族のコミュニケーションを深めようという提案です。



読み聞かせを通じて、物語や挿絵の楽しさをお子様と一緒に味わってみてください。

絵本



『バルバルさん』
乾米里子 文 / 西村敏雄 絵
福音館書店



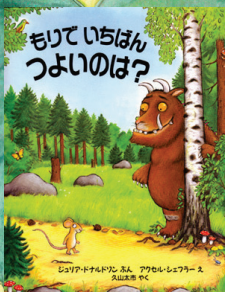
『11匹のねことあほうどり』
馬場のぼる 作
こぐま社



『トラのじゅうたんになりたかったトラ』
ジェラルド・ローズ 文・絵
ふしみみさを 訳
岩波書店



『バーナバスのだいだっそう』
ファン・ブラザーズ 作
原田勝 訳
学研出版



『もりで いちばん つよいのは?』
ジュリア・ドナルドソン 作
アクセル・シェフラー 絵
久山太市 訳
評論社



『クジラがしんだら』
江口絵理 文
かわさきしゅんいち 絵
藤原義弘 監修
童心社



『てぶくろ』
エウジェニー・M・ラチョフ 絵
うちださこ 訳
福音館書店



『わたしのワンピース』
にしまさかやこ 作
こぐま社



『もっと おおきな たいほうを』
二見正直 作
福音館書店

ネコさんのひとやすみ：10月27日は読書の日だよ。本よもうねっとMIEができた日でもあるんだ。



数日から1週間かけて少しずつ読み聞かせて
いただくと効果的です。

幼年童話



『としかんライオン』
ミシェル・ノードセン 作
ケビン・ホークス 絵
福本友美子 訳
岩崎書店



『ロボット・カミイ』
ふるたたるひ 作
ほりうちせいいち 絵
福音館書店



『まほうのじどうはんばいき』
やまだともこ 作
いとうみき 絵
金の星社



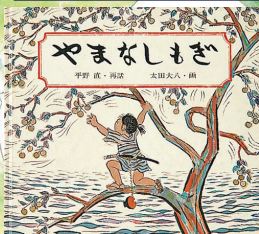
『ぼくのねこ ポー』
岩瀬成子 作
松成真理子 絵
PHP研究所



『しんばいながことが
あります！』
工藤純子 作 / 吉田尚令 絵
金の星社



『あおぞらこども食堂
はじまります！』
いとうみく 作 / 丸山ゆき 絵
ポプラ社



『やまなしもぎ』
平野直 再話
太田大八 画
福音館書店



『ちいさいおうち』
バージニア・リー・バートン 文・絵
石井桃子 訳
岩波書店



『かいじゅうたちのいるところ』
モーリス・センダック 作
じんごうてるお 訳
富山房

ネコさんのひとやすみ：紙の本と電子書籍だと同じ読書でも脳の使う部分が違うんだって！

10日以上かけて、少し長いお話を楽しんでみましょう。
ぜひご家族で一緒にお楽しみください。

児童文学



『ルドルフと
イッパイアッテナ』
斉藤洋 作 / 杉浦範茂 絵
講談社



『大どろぼうホッツェンブロッツ』
オトフリート・プロイスラー 作
中村浩三 訳
偕成社



『ぼくはアフリカにすむキリン
といひます』
岩佐めぐみ 作 / 高島純 絵
偕成社



『しゅくだいかけこ』
福田岩緒 作・絵
PHP研究所



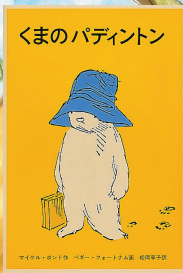
『しろくまだって』
斉藤洋 作 / 高島純 絵
小峰書店



『コアラのなみだ』
今西乃子 著 / 水野哲男 監
合同出版



『エルマーのぼうけん』
ルース・スタイルス・ガネット 作
わたなべしげお 訳
ルース・クリスマン・ガネット 絵
福音館書店



『くまのバディントン』
マイケル・ボンド 作
ベギー・フォートナム 画
松岡享子 訳
福音館書店



『防災室の日曜日』
カラスてんぐととうめい人間』
村上しいこ 作
田中六大 絵
講談社

ネコさんのひとやすみ：本を読むとストレスが軽減されるんだって！

うちどく

家読にはどんないいことがあるの？

大人にも

家族で同じ物語を共有することで、共通の話題や笑いが生まれ、**コミュニケーションを深める**ことができます。

本を通じて楽しい時間を共有することで、**癒しの時間**になります。

お子さんの反応から**成長を感じる**ことができます。

子どもにも

お子さんにとっては**絵本から読み物への橋渡し**となります。

物語の構造を知らず知らずのうちに感じとり、**長編作品の楽しさを知る**ことができます。

じっくりお話を聞くことで**想像力をはたらかせる**ことができます。

いいこと
いっぱい！



おすすめの本は
こちらから!!

二次元コードから
パンフレットに載せきれなかった
おすすめの本を見てみよう！
(本よもうねっとMIEポータルサイト)

(発行)

三重県教育委員会事務局
社会教育・文化財保護課
TEL : 059-224-3322
FAX : 059-224-3023

絵 二見 正直